

第3回由利本荘総合防災公園管理運営計画検討委員会 会議録（概要）

日 時 平成28年7月14日（木）

15時00分～16時30分

場 所 広域行政センター 学習ホール

【検討課題】 施設の利用方法・運営方法について

利用規則について

事業計画について

開館準備について

【出席者】 水野勇氣委員（代理 桑原淳氏） 菅原清委員 工藤兼雄委員
土田信夫委員 靱山芳雄委員 佐藤眞喜雄委員 三船文樹委員
澤田宣夫委員 打矢洋介委員
福祉支援課課長補佐 スポーツ課スポーツ振興班長
総合防災公園管理運営準備事務局
事務局長 スポーツ交流連携班長 スポーツ交流連携班職員
梓・アルファ設計共同事業体

1. 委員長あいさつ

2. 検 討

1) 第2回検討委員会での提案事項について

スポーツ交流連携班長【資料1】により説明

【委員長】

ただいま、事務局より、第2回検討委員会で委員の皆様方からのご質問やご提案に対する回答や修正案を含めて、施設の利用方法・運営方法の検討について説明がありました。

ただ今の説明に、ご質問や不明な点があれば、挙手をお願いいたします。

◎トレーニングルームの経費について

【委 員】

トレーニングルームに有資格者を配置することで経費が嵩むのでは。

【事務局(スポーツ交流連携班長)】

トレーニングルームに健康運動指導士、健康運動実践指導士、ヘルスケアトレーナーなどの有資格者を配置する場合は、当然その分の費用負担は発生します。

利用者の人数によって1人又は複数の有資格者を常駐させて、運動プログラムの作成や健康相談等を実施して、その対価として利用者から料金をいただきますが、その料金以上のものを提供していきたいと考えております。

◎屋根付きグラウンドの人工芝について

【委員】

屋根付きグラウンドについて、サッカー協会の方から人工芝はテニス用なのでサッカーには使えないと聞いている。市内にテニスコートは沢山あるのにこの意見のようですが、実際はどのようなのですか。

【事務局(スポーツ交流連携班長)】

屋根付きグラウンドにつきましては、サッカー協会の方にもお話しさせていただいておりますが、現在予定しております人工芝は、ショートパイルでテニスとフットサル兼用のものを想定しております。

また、フットサルに関してはアリーナ内でもやる事が出来ますし、冬期間には野球やグラウンドゴルフの練習にも活用されると想定しておりますので、多目的に利用してもらおうとも考えますと、ショートパイルの人工芝が良いと考えております。

◎メインアリーナの利用方法について

【委員】

メインアリーナをアイススケートリンクや人工芝を張ったりして活用できないか。

【管理運営検討業務委託業者】

今のアリーナで人工芝を張ってフットサルをやることは物理的には可能でございます。現在、アリーナ用の人工芝は予定されておきませんので、予算がかなり嵩むことになることと思います。また、これを仕舞う事になりますのでかなり大きなロールと器具庫が必要となることから現在の設計では難しいと思いますが、レンタル等でやることは可能かと思ひます。

◎合宿誘致について ①

【委員】

合宿誘致の状況はどうなっていますか

【事務局(スポーツ交流連携班長)】

由利本荘市に現在、合宿補助金はありませぬので、その補助金の創設や合宿誘致等を専門に行う事を目的として、現在設立検討中の「由利本荘市スポーツ・ヘルスコミッション」が設立されれば、そちらで本格的に誘致活動を行っていくことになリます。

県内外、主に県内の学校等が合宿利用することが想定されますので、そちらの方に働きかけていく事になります。

◎合宿誘致について ②

【委員】

合宿とは県内外の高校程度以上の合宿を想定しているのですか。

【事務局(スポーツ交流連携班長)】

スポ少の合宿や中学校の合宿など、全てを想定しております。また、調理室につきましても100名程度の合宿に対応可能なものを設置する予定です。

【委員】

東北に誇れるアリーナを作るということなので、中央の大学等への合宿誘致はどうしていくのですか。

【事務局(スポーツ交流連携班長)】

既に早稲田大学の方に合宿のお願いをしたりしておりますが、アリーナの施設利用料金や合宿補助金が決定して、それを基に中央の大学等にも本格的に合宿誘致を行っていきたいと考えています。

◎イベントの開催について

【委員】

カダレで開催できないコンサートや火気を使用する「食のイベント」の開催についてはどうなりますか。

【事務局(スポーツ交流連携班長)】

コンサートの開催は設備的には当然開催できますが、ステージやセットの大きさや消防法の関係もあり、実際の収容人数はそれぞれとなりますが、コンサート誘致についても積極的に行っていきたいと考えております。

また、食の文化等のイベントについては、火気を使用しますのでこちらも消防の方に確認して実施することになるものと思います。

◎利用時間枠について ①

【委員】

これは一般の利用のための時間帯ですか。

【事務局(スポーツ交流連携班長)】

その通りです。大会等開催の場合は臨機応変に対応したい。

◎利用時間枠について ②

【委員】

色々なことを想像しながら見てみましたが、利用する側とすれば1時間毎の利用時間がよろしいのかなと思いますが、利用率や利用料収入を考慮したり、既に利用時間枠を採用しているところがあって、その結果から利用時間枠というのであれば言うことはありません。

大会等は一日中借りられると言うことでありますので、よろしいのかなと思います。

【委員】

稼働後に利用状況を見て、話し合いの中で修正、見直しが必要であれば、そこでと思います。

【委員】

21時30分終了というのは、後片付けを含めてということでしょうか。

【事務局(スポーツ交流連携班長)】

その通りです。

2) 開館準備について

スポーツ交流連携班長【資料1】により説明

【委員長】

全ての施設が平成30年6月完成ということでしょうか。

【事務局】

アリーナの本体と屋根付きグラウンドは完成しますが、南側の多目的広場は平成30年度いっぱいであります。また駐車場はその時点では砂利敷きです。南側の進入道路も未だ完成しておりませんが、車が進入が出来るようにしたいと考えております。

3) その他

◎開館記念イベントについて

【事務局(スポーツ交流連携班長)】

開館記念イベントをVリーグやBリーグ、WJBL等を開催していただければと考えており、県バスケットボール協会、県バレーボール協会を訪問し、開催した際の収支状況についてお聞きしております。

各協議の会長へは戸別に訪問して、開催に向けて個別に協議させていただければと思いますので、宜しくお願いいたします。

コンサートの開催についても仙台市にありますイベンターを訪問し、現状をお聞きしている状況であります。

また、大相撲の地方巡業についても開催方法について関係機関にお聞きしている状況でありますので、方向性が決定しましたらご協力をお願いいたします。

◎開館記念イベントについて

【事務局（事務局長）】

先程来のご質問の中で、新しいアリーナでどのような形で行うのか質問があったかと思えます。今の段階で我々も各方面を回って、スポーツイベントだけではなくコンサートやその他に何かアリーナを活用したことを出来ないのかということで、色々模索をしているところであります。スポーツ・ヘルスコミッションも立ち上げるのですが、やはり今から足を運んで動かないと、なかなかチャンスは巡ってこないということもありますので、それは平行しながら我々も進めていきたいと考えて動いております。

合宿の誘致の話もありましたが、当科大学も視野に入れながら調査もしております。今後は県内に限らず高校等にも PR していきたいと考えております。使い勝手が良いように整備して PR していきたいと考えております。アリーナの使い方としてはスポーツだけではなくコンサートも含めて色々出来るというのが売りですので、そこを PR していきたいと考えておりますし、特に若い世代にプロスポーツが人気があると考えておりますので、協会を通じて誘致していきたいと考えておりますので宜しくお願いいたします。

【委員】

例えば、行政の方から使い方の提案があれば使う幅が広がると思います。

【事務局（事務局長）】

カダーレの時もそうでしたが、多目的施設ということで多様な使い方が出来ますと提示する場合がありますが、せっかくこの検討委員会がありますので、各方面からおいでいただいておりますので、ご提案や御提言をいただければありがたいと考えております。私どもも知恵を絞って考えますが、委員の皆様方からもこれまで考えられなかったような使用方法の提案やご指導も宜しくお願いいたします。

【委員】

石脇地区は古い町と新しい町があり、このアリーナ施設を使って石脇を一つにしたという思いもあります。全体会ではどういう風な使い方を住民がしたいのかということ町内会長から聞くことにしています。

【委員】

由利本荘市が一つになるようなことをやらないといけないと思うんです。協会として市民が活用して、活動してということを考えなければいけないと思うんですが、協会としてこれだけの施設が出来るのだから各地区で開催していた大会を一つの会場でやれないかとかいうことを考えているんですけど、実施可能かどうかこれから検討しなければならいんですけど、由利本荘市民が何か一つ市民のお祭りが出来ないかなと考えております。それぞれの種目がそれぞれのカテゴリーでやっているんですけど、何かまとまってやれないかなと、色々考えればやっていけるのではないかなと思うんですが、実際運営する際に様々な問題が出てくると思うのですが、そういうことも可能な形でこの施設が運営できるようにしていければと思います。

【事務局（事務局長）】

例えば、市民スポーツの日を設けたりしながら、その日は各種目の垣根を越えて何か出来るようなことについて、教育委員会スポーツ課を含めて考えていきたいと思っております。

◎フィットネススタジオについて

【委員】

民間では、ご婦人方が利用するフィットネスクラブが人気があります。フィットネススタジオもそこよりは安くして、もっと活性化する一つの手段になるのでは。

【事務局】

本市にも女性専用のフィットネスクラブが出来て、人気があると聞いています。

本アリーナのフィットネススタジオでは、別の形で独自のプログラムを提供するなどして利用者の増加を図っていければと考えております。

◎第4回検討委員会の開催について

【事務局（スポーツ交流連携班長）】

平成28年8月25日（木）を予定しております。

前回同様、2～3週間前に事前に検討内容を記載した資料を送付いたしますので、ご意見等を1週間前ぐらいまでに事務局に提出いただければと思います。

今回の検討委員会をもちまして、第Ⅵ章の開館準備までの検討は終了とさせていただきます。次回からは第Ⅶ章の人員配置から検討いただきたいと思います。

【事務局（事務局長）】

今回検討いただいた部分については、今後市議の方にも説明しながらご意見をいただくということで、基本的な部分は変わらないと思いますが、その中で文言の訂正とか言い回しや、章の前後の入れ替えなどが発生すると思いますので、議会の方からいただいたご意見については8月25日の検討委員会でおはかりしたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

◎その他（秋田プロバスケットボールクラブ（株））

【委員】

先ほどスケジュールを伺いましたし、指定管理者、スポーツヘルスコミッションの説明もあり、我々としてはありがたいことに公式戦の開催をということをお話しいただいておりますが、由利本荘市の市民の皆さんの利用増もさることながら、これだけ東北でも立派の施設ですから、我々としてはプロバスケットボールを通じて、いかに東北から県外から足を運んでもらえるような事業、イベントが出来るかなということで、協力をさせていただきたいと思っております。

市民の皆様の活用ということと、さらには我々のような団体、会社でございますけれども、我々は出来るだけ外から広く、実際今年もプロバスケットボール東北カップを東北6地区から集まって、今年は会場を福島ですけれども開催しておりますし、そういうことを呼べるようなお手伝いとか相互関係を築きながらやらせていただければと思っておりますので、そんな視点からも今後も宜しくお願いしたいと思っております。